

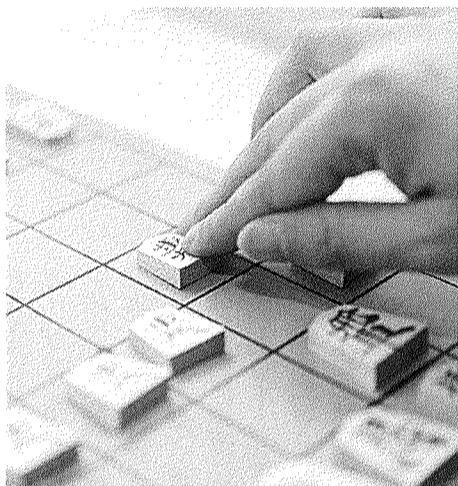
東京合同法律事務所
東京合同法律資団
東京都港区赤坂2丁目2番21号
永田町法曹ビル
TEL03(3651)3651 FAX03(3505)3976
<https://www.tokyo-godo.com/>

東京合同法律事務所 ニュース



将棋を観る

将棋ファンにならべて、
〇年ほどになる。
藤井ブームからのにわかファンじゃないぞと威張りたいところであるが、まだまだファン歴は浅い方だろう。それでも将棋のテレビ中継を観て、声だけで解説者がどうの棋士か分かる、というくらいには将棋が身近な存在になっている。もつとも棋力(将棋を指す力)の方はからつきしで、たゞぱら将棋を観る方を楽しんでいる。私のような観る将棋ファンを「観る将」(みるしよう)と呼ぶそうだ。

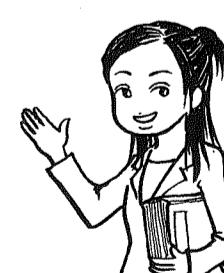


人戦もスマホで盛んに行われている。棋書を片手に将棋盤にパチリという磯野家の波平さんスタイルだったのが、今ではスマホを片手にポチポチといふのも定番になってい る。

ファンになって驚いたのが同業者に同好の士が多いことで、二〇人くらいで弁護団会議をやってみると三、四人は将棋好きがいる。同好の弁護士と会議の合間に「今日の名人戦の戦形は矢倉でしたね」などと話すのは愉快な会話の時もさきほどのアプリが活躍する。

ところで、「観る」対象は棋譜だけではない。個性的な棋士の存在も将棋の大きな魅力である。

テレビや雑誌で棋士を観ていると一度実物にお目にかかりたいと思うのがファン心理である。この一〇年で私は妻を将棋ファンにすることに成功し、夫婦でせっせと将棋イベントに足を運ぶなどして、何人の棋士を目指してきた。名人経験者だけでも、羽生九段、森内九段、中原士六世名人、加藤一二三九段、渡辺名人、佐藤天彦九段を目指したり、サイン会でサインを貰つたり、パーティで短時間話したり、料理屋のカウンターで隣り合わせたりした。こうなつてみると、藤井聰太二冠を一日観たいというのが人情の常で、ここ数年來の念願になつていてる。



冬季休
松の好きな
野球

冬季休業のお知らせ

松

好き な
の
野球

ノジカルなし
全く勝負になら
を相手にした場
ても一定程度の
ンカルを超える
ても一定度の
松

治五郎が柔道の極意
を表す言葉として使
つてはいたといわれて
おり、技で力を制す
ことこそが柔道の極
意なのだと一般的には理解されています。

しかし、これは誤
解なのです。嘉納治
五郎は柔道の極意と
して「柔剛一体」とい
う言葉を実は使って
いました。

故事情にはいつの時
代にも通用する人の
世の真理が表現され
ているなあとあらためて感じた今日この
頃でした。

(弁護士 洪 美絵)

A black and white photograph capturing a vast, sandy beach. In the distance, a dense urban skyline is visible, featuring numerous buildings of varying heights. A prominent bridge or pier extends from the right side of the frame towards the center. The beach is sparsely populated with a few small figures of people scattered across the sand. The foreground is dominated by the long, straight lines of a boardwalk or promenade, which runs parallel to the beach. The sky above is clear and bright.

協同のための100年の歴史を刻む街

海水浴のできる海と砂浜。右手に少し見えるのは世界一長い吊り橋だ。それをさらに右へたどると緑の島影が見える。その海峡をたくさんの船が往き来している。これを撮ったのはもう4年以上も前のことだ。

26年前、このあたりで大きな地震があった。あの大橋の向こうにある街に何度か来た。自由法曹団の赤い腕章をつけて法律相談などの支援をした。

100年前、この街で三万人もの人々が参加した労働争議があった。暴力団が動員され、官憲や軍隊まで動員されて徹底的な弾圧が加えられた。自由法曹団はこの弾圧に対する調査団が契機となって結成された。

同じ年、同じこの街で、日本で初の労働者・市民による生活協同組合が結成された。

協同のための100年の歴史。そのひとこまに加わることができたのは嬉しい

また行きたいと思いながら、目の前のことにつれてなかなか行くことができない懐かしい街である

弁護士 前川 雄司

これは、古代中国の兵法書「三略」に由来する言葉です。「三略」には「柔能く剛を制す、剛能く柔を断つ」との記載があります。

企劃案を下す 実を知ることの意味

現在、飛行機は自動車よりも安全といわれています。そして、エンジンなどの機体の改良や、G.P.W.S（地上接近警報装置）、T.C.A.S（航空機衝突防止装置）等の安全機器の搭載など科学技術の進化により、悪天候やエンジントラブルを原因とする事故は多くありません。

パイロットによる操縦不能など事故原因の約七割は乗務員が原因です。この「ヒューマン・エラー」はなぜ起こるのか、「ヒューマン・エラー」を防ぐにはなにをすべきか、機長として一万時間を無事故で飛行され、乗務と兼務しながら安全推進部で安全施策の立案・実行も担われた杉江弘さんにお話しいただきました。

また、ルート停止を求めて直下住民が裁判を起こした羽田空港の新飛行経路（二〇一〇年三月二九日運用開始）の問題点はどこにあるのか、をお話いただきました。



杉江 すぎえ

元日本航空機長。DC8、ボーイング747、エンブラエルE170などに乗務。同社運行安全推進部在籍時には「スタビライズド・アプローチ」など、航空界の安全施策を立案推進。現在航空評論家、エッセイストとして活躍中。「機長が語るヒューマン・エラーの真実」「危ういハイテク機とI.G.Cの真実」など著書多数。



弁護士
緒方 蘭
おがた らん

先ほど機材のハイテク化のお話がでました

A-1時代のパイロット

和歌山の大きな病院でこの話をしたことがあり、ます。その病院は自安箱を設置していたんですね。が、書く人は全員が看護なものを業界全体でつくることでありますよね。県単位とか全国単位、業界単位で対策の制度を作ることが有効です。

緒方 ます、いわゆる「ヒューマン・エラー」はどのような原因で発生するのでしょうか。

杉江 人間は動物ですか
らミスをするものです。
最近の航空事故は全体
の五五%ぐらいがパイロ
ットのヒューマン・エラ
ーによる事故です。オラ
ンダの専門家によれば、
地上職や整備士・客室乗

務員を含めると、事故の
八五%くらいがヒューマ
ン・エラーに関するもの
です。

技術の進歩によって機
械の不調による事故はほ
とんどなくなつてきてい
ますが、その代わりに、
ヒューマン・エラーによ
る事故が増えていきます。
例えば、飛行機自体には
問題がないのに、パイロ

緒方 まずいいねるヒューマン・エラー」は、どのような原因で発生するのでしょうか。

杉江 人間は動物ですかからミスをするものです。

最近の航空事故は全体の五五%ぐらいがパイロットのヒューマン・エラーによる事故です。オランダの専門家によれば、地上職や整備士・客室乗務員を含めると、事故の八五%くらいがヒューマン・エラーに関するものです。

技術の進歩によって機械の不調による事故はほとんどなくなってきたのですが、その代わりに、ヒューマン・エラーによる事故が増えていました。例えば、飛行機自体には問題がないのに、パイロットが正しく対処できず、これが原因で事故が続いていることがあります。

最近七三七MAXなど、うボーリング社の飛行機が立て続けに事故を起こしています。この機種

トが
イロ
う
きず
う
い
トの技量が多少低くても
いいだうといふコンセプトで設計されています。
ので、ユーチャーであるパilotと、航空会社の意見を聞かずに技術屋が地
上で設計して、最終的にテストパイロットが飛行機
しま
起
体は
行機
とい
う
き
ます。今の飛行機は、
自動操縦システムがしつかりしていればパイロットの技量が多少低くてもいいだうといふコンセ
プトで設計されています。
ので、ユーチャーであるパilotと、航空会社の意見を聞かずに技術屋が地
上で設計して、最終的にテストパイロットが飛行機

久保田 では、ヒューマン・エラーにはどのように対処していくばよいのでしょうか。

有効です。世界中の鉄道員で指差し確認をやつて いるのは日本だけですが、とても有効な手段です。

流れは圧倒的にこの非罰主義です。ところが日本は、私が現役のときには、JAL・ANA・JASの三社で年間四〇件しか上がつてこないんですよ。日本の法制度では、ミスをしたパイルットが特定されると、刑事・行政・民事の三つの手続きで、医師は一人も書かないという話を聞きました。だから、県内のいくつかの病院という規模でもいいから目安箱に代わるような体制を作つて情報を共有する。誰が書いたかは絶対に秘密にするという制度を作ることを提案しました。

ヒューマン・エラーが 起きる原因是?



鈴木 眞

向かつたために衝突してしまう、という対地衝突事故（CFIT）の原因は全部ヒューマン・エラーです。現在は対地接近警報装置が世界中で義務づけられたため、CFIT事故は少なくなりました。今一番多い事故は、操縦不能事故です。この操縦不能事故が起きた原因として、システムの問題が起きます。操縦不能事故の原因にはいい面もあるんです。ですが、トラブルが起つたときや緊急事態に

量生産する、これが現状です。ユーザーの意見が反映されないのは航空業界の特殊な点です。行き過ぎた競争原理の中で、自動化システムに頼り過ぎて、本来自動化しなくともいいシステムの対策

ヒューマン・エラー

イロッソの技量がシステムについていけないとどうところが最近の事故の特徴ですね。こういうヒューマン・エラーによる事故は今後もなくなるといふ思います。



等の分野で過去何年も遡つて処分を受けてしまうので報告する人が少ないのです。そうなると、ミスのレポートが上がつてこず、ミスをなくすためにレポートを活かすことが難しくなります。

和歌山の大きな病院でこの話をしたことあります。その病院は自安箱を設置していたんです。が、書く人は全員が看護が、

緒方 杉江 現場の声を聞くことが重要なのですね。

現場が一番みんなよく知つているわけですから、現場の人たちの意見を集め約するべきです。例えば、安全報告制度というようなものを業界全体でつくることですよね。

県単位とか全国単位、業界単位で対策の制度を作ることが有効です。

